

提案書要約

1. 事業名 PPバンドの水平リサイクル社会実現のための回収網拡大

2. 応募者名 株式会社ウッドプラスチックテクノロジー

3. 内容

(目的) PPバンドの水平リサイクルの認知度を向上させて回収網を拡大する。

(背景)

・当社は、PPバンド（プラスチックを原料とする梱包用バンド、建設資材の梱包などに用いられる）のメーカーである。使用済みPPバンドからPPバンドへの水平リサイクルにより、環境負荷低減、コスト低減が可能な製品を販売しているが、新製品のため認知度が不足しており、市場全体の95%は、いまだにバ



ージンプラスチック製である。また、廃棄面でも、使用済みPPバンドは分別されず廃棄されているものが多く、大半が焼却されており、リサイクルPPバンドの原料確保も課題である。この状況を変えるには、PPバンドの水平リサイクルの認知度を上げるとともに、原料となる使用済みPPバンドの回収量を増やす必要がある。

そこで、本事業では、使用済みPPバンドの回収量を増やすため、「展示会場」「建設現場」の2か所からの回収に新たに取り組む。

① 展示会場

大型の展示会場では、毎週のように展示会が開催され、出展企業のブースが設置、撤去を繰り返されている。資材搬入に使用された梱包資材を、展示会の事前準備日に回収する。2024年12月に開催されるエコプロで実施する。また、建設現場では大量の廃棄物が発生するため、PPバンドやストレッチフィルムなどの分別ができていない。都内の工事現場において発生する使用済みPPバンドを分別、回収する。回収したPPバンドは、自社にてPPバンドにリサイクルする。これらの回収、リサイクルの取り組みについて、イ

ンターネット媒体に記事を掲載して、幅広く広報を行い、認知度向上を図る。

② 建設現場

建設現場では大量の廃棄物が発生するため、PPバンドやストレッチフィルムなどの分別ができていない。清水建設の都内の工事現場において発生するプラスチック廃材から、PPバンド、ストレッチフィルム、その他の袋（PP、PE製）を現場にて分別したうえで回収する。回収したプラスチック廃材は、PPバンドはPPバンドへ、ストレッチフィルムは敷板へ、その他の袋はパレットへマテリアルリサイクルする。

(期待される効果)

「PPバンドの水平リサイクル」の認知度向上の結果、使用済みPPバンドの回収量拡大、二酸化炭素排出量削減を実現する。

① PPバンドの水平リサイクルの認知度向上 4000~6000件のPV獲得

② 使用済みPPバンドの回収量拡大

③ 二酸化炭素排出量削減

(取組実績)

・2016年に「エコマークアワード」を受賞、2019年に大分工場、2023年に新潟工場を立上げ、使用済みPPバンドを原料としてPPバンド用のリサイクルペレットを製造するラインを新設し、自社製品の40%をリサイクルプラスチック製に置き換えている。

4. 本事業の実施体制

- ・株式会社ウッドプラスチックテクノロジー
- ・グリーンプラ株式会社（子会社）販売部門
- (協力企業) 日本経済新聞社、清水建設

5. 実施計画

- ・展示会での回収 2024年12月のエコプロ2024
- ・建設現場での回収 2024年10~12月
- ・回収したプラスチックを用いた製品製造 2024年12月
- ・広報活動 2025年1月に掲載